

放送大学千葉学習センター

# 幕張キャンパスだより



## 目次：

### 特集

試験勉強のあれこれ

試験の彼方に 2

私の試験勉強 3-6

放送大学「大辞典」を作ろう - 放送大学現代GPプロジェクト 7

ト

事務室からのお知らせ 8

## 試験の彼方に

「人間の探究」助教授 大石和欣

20数年前見たフランス映画に『バカロレア』がある。高校生たちがすばらしいカンニング技術を使ってバカロレア(統一大学入学試験)に合格していくコメディである。もちろんカンニングはよくない。ただ、彼らがそれぞれ趣味や個性を追究し、実に生き生きとした生活を送っていたのを鮮明に憶えている。一回の試験などで人生や個性は測ることなど不適切かつ不可能だというメッセージが潜んでいる。豊かな知性や教養もまた一回の試験では測定不可能なのかもしれない。そういえば、アインシュタインでさえ幼年時代から計算は苦手だった。チャーチルもハロー校の入学試験答案を白紙で提出し、その大胆さゆえだろうか合格した。試験は知性や教養の一側面を切り取って測定するだけであり、全てを検分しているわけではない。放送大学の試験科目の多くはマークシート方式だし、印刷教材持込可であったりもする。それほど準備できなくても合格してしまうこともある。逆に丸暗記していても思うようにいかない場合もある。一口に試験勉強といっても科

目や分野によってスタイルも異なることも確かだが、放送大学での学習の最終目標が、充実した社会・個人生活を送るための豊かな教養の確立なのであることを忘れてはならないだろう。

それは一回の試験で終わりになるものではなく、仕事をしながら、あるいは家庭生活を営みながら学習し、目標を生涯にわたって長く延びたその先に置くものだ。試験の成績がよかった場合でも、思いのほか悪かった場合でも、それですべてではないと思直そう。逆にいえば試験の彼方にあるその大きな目標を目指して勉強していれば自分にとって有意義な試験準備ができる。それでダメなら、経済学者ケインズが公務員試験で落ちたときに言ったように、自分が正しく出題者が無知なのだと考えて、自らの個性とそれを基盤にした教養を大切にしよう。



## 私の試験勉強

在学生の方々から試験勉強についての寄稿をいただきました。

## 私の勉強法

原 義友(自然の理解)

私は平成2年3月に65歳で退職し、放送大学に入学しました。「社会と経済」専攻で5年掛けてゆっくり卒業、4年後に再入学し「発達と教育」を3年間で卒業、現在は「自然の理解」専攻3年目で、木村龍治教授のご指導を戴いて卒業研究をしています。

仕事から離れた今、新しいことを知ることは素晴らしいことで、丹念に勉強しています。単位認定試験は、チャレンジです。卒業研究は、調査研究する過程を苦しみながら楽しんでいます。

現在までの単位取得数は、放送授業科目84科目で169単位、面接授業44単位、卒業研究2回12単位、合計225単位です。

私は1学期間に放送授業4～5科目を受講しました。単位試験準備は「試験勉強型」です。前期の集中放送授業期間に、TVやラジオ放送をビデオテープに録画・録音します。そして試験の前月から集中試験勉強をします。

体得の必要な数学系と語学系は1章に1日を使いました。先ず録音録画で学習し、次いで数学統計学系の科目は紙と鉛筆で問題を解く。語学系の英語とドイツ語

は本文の繰り返し聴き取りで憶えました。

理解中心の一般科目では、1日に3～4章のサブノートを作ります。1章分ずつ見開き2頁4段に収めて全体概観ができるようにします。次いで録音録画で学習し、印刷教材に追記をします。15章を終えた後、印刷教材末尾の索引をコピーし、全項目を教材上での確認、アンダーラインをします。その際、試験が択一式なら類似項目との違いに着目し、記述式なら章、節内の位置づけを注意します。

勉強に集中した日の夕方は、多摩川堤をジョギングしたり、歌を歌ったりして気分転換をします。

このように1学期に放送授業4～5科目をこなしたのですが、78歳に入学した「自然の理解」では、記憶力が衰えてきたことと、いきなり専門科目から始めて消化しきれないため、1学期2科目に減らしました。でも成績が送られてくる度に「この次はもっと勉強法を工夫しよう」と考えて、頑張っています。

色々述べましたが、少しでもご参考になれば幸いです。

## 私の試験対策

村形慶法(自然の理解)

私の試験対策は受講科目の選択の時から始まります。皆さんも自分の興味や卒業条件などで、受講科目を決定すると思います。しかし、気を付けなくてはいけないのが試験日程です。放送大学では1日最大8科目受験可能ですが、実際それだけ受けるのは頭にも体にも成績にもよくないのは想像に難くありません。私は受験する科目を1日最大5科目まで、連続して受けるのは2科目までにしていきます。もしそれで受講できない科目ができてしまった場合は次学期に優先して受講するようにします。試験の時に実力を出し切るには時間的な無理をしないことです。

次に授業が始まって講義を受けるようになったら、目、耳だけではなく、手も意識し

て動かして勉強することを心掛けています。例えばテレビで講義を受ける時には、映像を目で追うだけではなく、ノートをまとめたり、教科書にメモをしたりしています。当然といえば当然の勉強スタイルですが、集中力を保ち、勉強したことを頭に定着させるには、これが一番の方法だと思います。そして、必ずその日のうちにノートなどをザッと読んでおさらいしておきます。試験直前では、教科書やノートを簡単にまとめ直すだけにして、徹夜など無理をせずゆっくり過ごすようにします。

これらを普段心掛けているだけで、意外とスムーズに試験を乗り越えられると思います。

## 試験勉強の方法

大井美佐代(人間の探求)

試験勉強の方法ということですが、15回の放送を聞くことがせいっぱいで、特別には何もしていないと思います。

1年前にイギリス文学を勉強したのですが、ラジオは必ず聴くようにしていました。正直、分かりづらかなかというのが、第一印象でした。もしかしたら『これは落とすかも』とさえ思いました。それが、同じ時期に、今思えば偶然選んだのですが、面接授業を受講することが出来たのが、良かったのだと思います。

やはり、テキストはあったとしても耳で聴いているだけより、映像で確認したり、作品をじっくり分かりやすく解説していただけたので、その時は有名な数人の思想というのが、よく理解できました。そのおかげで、無事、試験にパスできました。

ですから、出来れば、直接、教えていただけるのが一番良い方法なのですが、とりあえず点数で合否が決まる試験は、すべて理解出来ていないけれど『合格すれば良いか』という勉強のしかたをしています。

## 私の試験勉強法

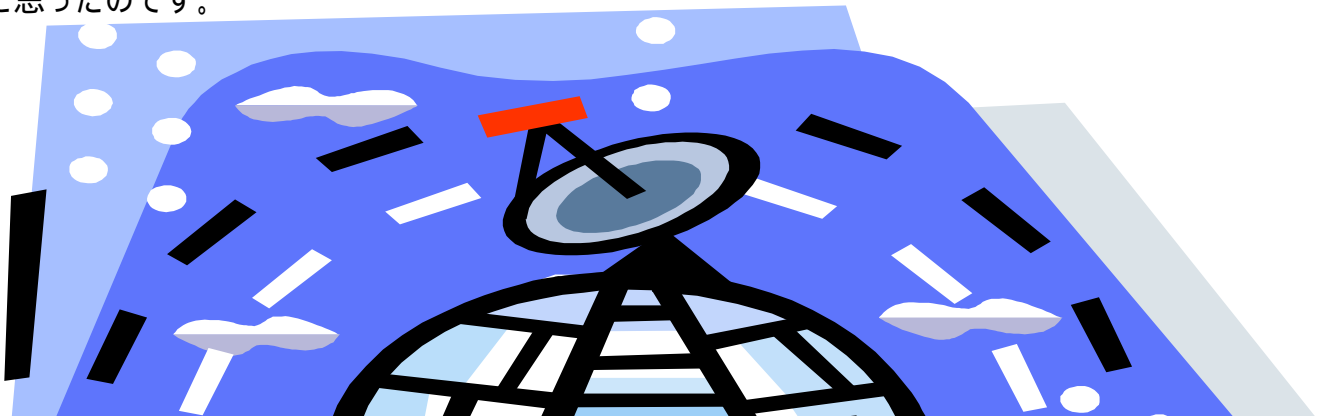
奈良玲子(生活と福祉)

「例え一夜漬けになったとしてもテキストに目を通そうとする、その意欲が素晴らしいと思うわ」これは「テスト勉強をする時間が上手くとれずに結局一夜漬けで本番に臨まなければならない」と愚痴をこぼした私に対しての短大時代の友人の励ましの言葉です。

そう、思い返してみれば認定試験と称したテストを、中、高校、短大をはじめ現在、私が悪戦苦闘している放送大学の単位認定試験勉強に至るまで、今まで幾度のテストに臨んできたことでしょう。その度に「時間が充分で無く計画通りに学習出来なかった」と後悔することが多かった私です。唯一、積極的に知識吸収につとめられた、そうせざるを得なかった認定試験といえやはり職場での「業務知識」のテストでしょう。社会人として当然のことです。また、例えそれだけでも生きて行く上では何の支障も無く充分だと言えるかもしれませんが、私は学生時代にやり残した「学び」に対して何か一抹の寂しさの様なものを感じていました。「仕事」と「生涯学習」は両立出来る筈だと思ったのです。

放送大学の学生になった今現在、私の意識は大きく変わりました。「仕事」「学習」がセットとなり生活の一部になったのです。が、やはり現実問題「仕事」に大半の時間を費やしてしまうのも事実です。特に試験前には焦りと苛立ちから冒頭で紹介した様な愚痴も度々口にする私ですが、友人のアドバイスも然ることながら自分に言い聞かせるものです。「たとえ時間がかかっても、今回単位取得が無理であってもきちんと理解をしてから前進すべき」だと。勿論、一度でパスするにこしたことは無いのですが「生涯学習」をモットーとするのであればあくまでも学習を通して得た知識を自分の糧にするべきである、と。

航空会社に勤め13年目になる私ですが、何処へ行くのにも放送大学のテキストを持ち歩きほんの数分でも時間がとればページをめくる今日この頃です。とにかく読み込み、自分の言葉で理解することを目標に。この一瞬、一瞬の積み重ねが私の求めていた「学び」そのものであると信じて。



## 私の勉強法

山本信行(自然の理解)

海が好き、船も好き、星座も好き、酒は大好き。

「理系」は昔から大嫌いなのに、何故か専攻は「自然の理解」。試験はEのオンパレード。テキストを読んでも分からず、ビデオを見れば混乱するだけ。

自分のThird Ageを充実させるために苦学を覚悟の上で決断したのだ。今更やめられるか!!

勉強の方法を変えればいいのだ。Eより成績が下がる心配はない。D C B A これで行こう。

第1章からでなく、興味のある章から取り組み最後まで学習しよう。

『カオス学入門』は、第7章のリアルワールドのカオス(5. 船舶とカオス)から始めた。 $FR(\ ) = W \cdot \overline{GZ}(\ ) \sim W \cdot \overline{GM} \cdot \sin$  これは、船の復原力に関するものなので、この章だけで1ヶ月かかった。

『運動と力』は、第8章流体の運動(3. レイノルズ数と相似則)から取り組んだ。この章は、Sale BoatのSaleの操縦技術upにつながるの、理解するまで学習した。

結果は、2科目合格した上に操船技術も向上した。試験は受かるし、趣味の船の知識は習得できるし、これだから勉強は途中でやめては駄目なのだ。後、一步だ!

Eのオンパレードから学習を始めた私です

が、何と後、残り3科目で卒業だ。問題は『英語』だ。

英語はEからDになりDで停止。日本の経済と同じでDの踊り場だ。

でも「The Book of Tea」お茶だぜ、茶はただで、酒は金を出して毎日飲んでいく。「The Book of Sake」だったらAは取れるのに? 休日にまとめてテープを聞いていたのを、今は毎日最低10分は聞くようにした。毎日の時間は短い、この方が記憶している気がする。問題は維持することだが、朝夕の「天気予報」を見るのをやめた。この20分間が貴重なのだ。空を見ればわかるから。英語は継続して聞かなければ、明日も明後日も分からない。

継続していると、押し売りみたいなもので、耳に残っている。If、外国語って耳から覚えるもの? 同じテープを10回も聞くとスペルは無理でも、大体の内容は理解できる。

「分かったようで分からない、完全に理解できない」が、まあいいか? 会話にはスペルは必要ないから、又、ボディランゲージもあることだし。

「いつまでも有ると思うな親の金」「無いと思うな運とC」大橋先生、不出来な生徒でごめんなさい。 - 夏の海が呼んでいる - 問題を解いて、舳を解いて!!put up a sail!!

## 放送大学「大辞典」を作ろう - 放送大学現代GPプロジェクト

「社会と経済」助教授 坂井素思

電子版の大辞典を作ろうという合言葉を発端として成り立ったプロジェクトが、ここで紹介する放送大学「現代GP」です。GPとは、グッド・プラクティス(良い実践)という意味で、文部科学省が全国の大学などで教育上の良い試みに対して、特別の予算配分を行うものです。幸いにも、2004年度に「IT」部門で、放送大学が選ばれたのです。そして、これまた有難いことに、千葉学習センターの一室にスペースが与えられ、プロジェクト室を開くことができました。

放送大学大辞典を作ろうというのは、たしかにかなり大それた試みです。現在放送大学では300科目に近い授業科目が常時放送され、それに対応した教科書が用意されていますから、もしこれだけのものをすべてデータベースに収めるとなると、単純に考えたとしても、映像・オーディオだけで300科目それぞれ45分授業で15回分ありますから、3375時間分の蓄積が必要です。教科書についても300冊で平均200ページとしても、6万ページ分のテキストが登録されなければなりません。しかも、これらについて、過去の20年間分にまで遡るとすると、気の遠くなるほどのデータ量を扱わなければなりません。

もちろん、これらのすべてを実現することは無理ですが、たとえ部分的であっても、

このようなデータベースを作ることは、いくつかのメリットのあることは事実です。第一に、学生の方が自習用に使えます。通信制では、科目内容についての質問が行いにくいのですが、この大辞典を使って自分で言葉の検索を行えば、その意味が印刷教材のどこで説明されているかが必要なときにはいつでもわかりますので、自習用に最適な道具となるでしょう。第二に、卒業研究や大学院ゼミナールの資料用として活用できるかもしれません。ゼミで、言葉を確認めたり、映像資料を呼び出したりして利用することができます。第三に、体系的な学習を行う補完的教材として、大辞典はデータベース的な知識を提供してくれるでしょう。データベースによる知識は、断片的で一時的な「知識の切り売り」的な状況を作ってしまうという批判もありますが、放送大学の授業による体系的な知識と相互補完的な使用を図ることで、利用しただけでは有効な大辞典となると思います。現在の実験段階としては、いくつかの部分的なパイロット版を作ること満足しなければなりません。また、著作権処理で限定が付けられる可能性もあります。けれども、このような機会は滅多にないことなので、ぜひ夢物語の1割でもよいから実現したいと思っています。

## 事務室からのお知らせ

### 平成17年度第2学期(10月入学)の学生募集について

大学では、教養学部(全科生・選科生・科目生)、大学院(選科生・科目生)の学生募集を行っております。

**出願締切は、平成17年8月31日(水)までです。**

在学生・卒業生の皆さん、友人・知人の方々に“放送大学と一緒に学びましょう!!”と、入学のお勧めをして下さるようお願いいたします。

### 科目登録申請について

平成17年度第2学期の放送授業及び面接授業(毎週型・土日型)の科目登録申請期間は次のとおりです。

登録申請は必ず期間内に行ってください。

登録申請期間

平成17年7月27日(水)～平成17年8月10日(水)

大学本部必着

手続きは、科目登録申請要項による。

### 学生研修旅行について

前号で、お知らせしました学生研修旅行を次のとおり実施します。ロクロを用いた笠間焼きの工芸体験及び美術館などの施設見学を通じて、学生相互、教職員との交流を図りたいと思います。千葉学習センターまでお申し込み下さい。

【実施日】平成17年9月11日(日)

【研修先】茨城県笠間市「笠間焼き窯元 桧佐陶工房」、「茨城県立陶芸美術館」他

【集合時間等】出発：千葉学習センター：7時30分 帰着：千葉学習センター：17時

【募集定員】先着35名

【参加費】4,000円

【募集期間】平成17年8月31日(水)まで(定員になり次第締め切ります)



### 編集後記

「事務室からのお知らせ」で学習募集のご案内をしましたが、入学志願者数が伸びません。理由はともあれ、このままでは、まさしく放送大学の危機です。

千葉学習センターでは、県内全域(東葛地域除く)で、募集に関する様々な広報活動を展開しております。

その一つとして県内全ての公立公民館・図書館・各学習センターなど(以下、「公民館等」という。)に募集要項を配架しています。

読者の皆さんで、お近くの公民館等にお出かけの際、窓口で学生募集要項ありますかと声を掛けて下さい。

これによって、学生募集要項が市民の皆さんの目立つ取りやすい場所に配架して貰うことが最も効果的な広報となります。

名づけて『公民館等での声掛け運動』をお願いします。

教職員一丸で募集活動に奮闘しています。

読者の皆さんのご支援よろしくをお願いします。

放送大学千葉学習センター

〒261-8586

千葉市美浜区若葉2-11 043-298-4367

ホームページ <http://www.u-air.ac.jp/>

Email [chiba@u-air.ac.jp](mailto:chiba@u-air.ac.jp)

